

## 介護実習の内容及び特徴

### 1 各年次における介護実習の内容

#### < 1 年次（介護実習Ⅰ） >

##### (1) 施設の概要を理解する。

- ① 実習前オリエンテーションを受け、施設の組織、運営、事業概要を学ぶ。
  - ・施設の全体を理解する。
  - ・法的裏付け、歴史的概況、地域の特性、建物内部の様子、各部署における職員の役割、利用者の状況、事業・業務内容、介護方針を理解する。
  - ・介護職員の業務内容を理解する。

##### (2) 実習の意義、目標について考える。

- ① 実習目標を明確にして、実習に入る。
  - ・目標を達成するための具体的な方法を考える。
- ② 介護職員の業務内容を学ぶ。
  - ・介護及び支援の適切な支援の実際を見て、できることから経験する。
  - ・日課表に沿った業務の進め方を学ぶ。
  - ・コミュニケーション技術を用いて利用者に関わる。
  - ・行われる介護技術の意味を理解し意識して、基本的な介護技術の実践を行う。

##### (3) 実習生としての基本的な態度を身に付ける。

- ① 自己紹介や挨拶からかかわりを始める。
- ② 明るい態度、活動に適した服装と言葉を工夫する。

## < 2 年次（介護実習Ⅰ） >

### (1) 施設の概要を理解する。

- ① 実習前オリエンテーションを受け、施設の組織、運営、事業概要を学ぶ。
  - ・施設の全体像を理解し、地域ケアシステムにおける介護サービス施設の役割を学ぶ。
  - ・法的裏付け、歴史的概況、地域の特性、建物内部の様子、各部署における職員の役割、利用者の状況、事業・業務内容、介護方針を理解する。
  - ・介護職員の業務内容を理解する。

### (2) 実習の意義、目標について考える。

- ① 実習目標を明確にして、実習に入る。
  - ・目標を達成するための具体的な方法を考え、実践する。
- ② 介護職員の業務内容を学ぶ。
  - ・業務の実際を見て、できることから経験する。
  - ・利用者や家族との関わり方・コミュニケーションのあり方について体験的に理解を深める。
  - ・ボディメカニクスの重要性を理解し、適正な使い方について学ぶ。
  - ・科学的根拠に基づいた介護について理解・意識して、介護技術の実践を行う。

### (3) 施設における安全対策・危機管理について学ぶ。

- ① 防災訓練などの訓練時に、利用者の安全確保の方法を学ぶ。
- ② 防災設備の操作を学ぶ。
- ③ 安全対策と危機管理の重要性を学ぶ。

### (4) 介護専門職としての責任と役割を考える。

## < 3 年次（介護実習Ⅱ） >

### (1) 介護計画（個別援助計画）の必要性和介護過程の展開方法について学ぶ。

- ① 利用者状況について、情報収集・アセスメントを行い、個別性を理解する。
- ② 利用者の特性からニーズを明らかにし、目標設定を行い、介護計画を立案する。
- ③ 介護計画の実施・評価を行う。
- ④ 介護過程の展開方法について理解し、考察する。

### (2) 医療関係など多職種と連携することの必要性を学ぶ。

- ① 医療・看護業務・リハビリ業務など関係部門の見学や実践を通して、他の専門職との連携や業務区分について理解する。
- ② カンファレンスや事例検討会に見学や参加を行い、介護従事者としての視点及び他の専門職とのチームとしての連携方法について理解を深める。
- ③ 多職種協働やチームケアが実践されていることについて理解する。

## 2 実習期間及び実習時間

### (1) 実習期間

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 1 年次 | 冬季休業中の 4 日間              |
| 2 年次 | 7 月の 12 日間<br>10 月の 8 日間 |
| 3 年次 | 6 月の 13 日間<br>7 月の 15 日間 |

### (2) 実習時間

8 : 00 ~ 16 : 30